

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



陰山メソッドと金山小学校の私塾式教育

視察報告：田川市立金山小学校の授業参観②

次いで、算数科「分数×分数」(集中速習型授業)の授業ですが、45分の授業でした。これも1限分の授業を丸々参観しました。ただし、複数の児童の計算を進行ペース、あるいは正しさや間違いを見ながら、参観していました。その特徴は、①整数は分数に直すことができる。②帯分数は、過分数に直すことができる。③小数は分数に直すことができる。④3口の計算でも途中約分をすると、計算が簡単にできる。という説明が試験問題に書いてありました。

これらの進行は、最初にゴール問題を掲げ、次いで、ステップを4段階で進み、最初のゴール問題を解いてみるというものです。ステップごとに出来具合を先生に見てもらえることができました。また、早く終わった児童は、教壇で先生の代わりに、記入した児童の答えをチェック、正誤を記入でき、誤りには指導も含めるものでした。知らないことを学習することが基本ですが、自分が習いできたことを人に教えることができれば、その児童の勉強能力は各段に上達するのではないかと直感しました。

答えができた子から、順に答案を提出して終わり、できていない子、間違った子に指導する、それを一つの教室で一体に行うやり方が陰山メソッドの得意とする点ではなからうかと思いました。それはいわゆる一般の学習塾ではやらない方法であり、江戸時代の著名な知識人を輩出した私塾のやり方であろうと考えました。

なお、重要なことですが、この取り組みは、担当教師である新穂先生の普段の研究、授業の準備はもちろん、クラス全員への目配り、個々の児童の進展状況に関する自席への回りなどが重なって達成されているものだと思います。さらに、それを見守る校長先生の確信と期待、さらに市教委の田川市全体への普及拡大で学力アップを見込む姿勢の連携により実現できていると感じました。



算数は東京書籍

金山小学校の使用教科書
国語は光村図書でした



子育て費用の無償化事業の拡大

第2回定例会にだされた補正予算の主要なものは、子育て支援策に関する事業費となっています。認可外保育施設(認証保育所や企業主導型保育施設)の第1子の保育料を無料化する予算です。定期利用保育や幼稚園の満3歳児の預かり保育にかかわる部分の第1子の保育料が無償化されます。予算的には従来町田市が独自に負担していたものが無償化になるものです。ただし、国の施策で行われる関係で、町田市の負担は減少することになりました。

また、それらの施設における給食費にかかわる課題ですが、物価高騰による給食費用のコストがその食材費、光熱費の高騰に及んでいます。その対策として、財源的には国の地方創生臨時交付金や東京都の保育所など物価高騰緊急対策事業の活用することによって、学校給食事業に関して、栄養バランスを確保する、量を維持した給食を提供するという一方で、保護者の追加負担が無く、安定的に供給される体制の維持を図る措置です。

*以下の表は食材料費や光熱費の物価高騰分支援

要件	対象期間において、対象施設が「昨今の物価高騰に伴う負担を利用者に求めないこと」			
対象施設	市内保育・教育施設			
	施設類型	施設数	支給額	延べ児童数
	① 認可保育所	71 施設	33,671 千円	38,970 人
	② 幼保連携型認定こども園	4 施設	4,775 千円	5,526 人
	③ 幼稚園型認定こども園、 新制度移行幼稚園	23 施設	17,366 千円	20,880 人
	④ 私学助成幼稚園	11 施設	7,424 千円	8,826 人
	⑤ 小規模保育所	19 施設	1,986 千円	2,298 人
	⑥ 家庭の保育者	12 施設	301 千円	348 人
	⑦ 認証保育所	4 施設	908 千円	1,050 人
	合計	144 施設	66,431 千円	77,898 人

※支給額の算定根拠: 864 円(給食等の提供がない施設は 396 円) × 延べ児童数(2025 年 4 月から 2025 年 9 月までの各月初日の在籍児童数合計)

同様に、小中学校の学校給食の質と量の維持確保を図る予算措置も盛り込まれています。

無償化の措置は南地区では当面食材費の提供に留まる

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう！

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員 3 名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ



ブログ



個人HP



メールは
左記を読込
して送信

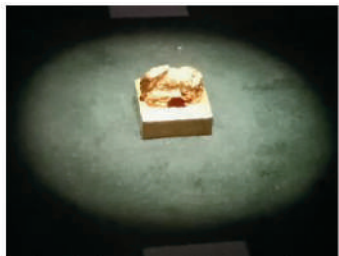


好評インターンシップは、第
56期生がスタートしました。

一般質問:工芸館の美術品の価値について

果たして、(仮称)町田市立工芸美術館が収蔵する工芸品に40億円もの税金をかけて飾るべき価値があるのかを問いました。

そのために、他の自治体の博物館、あるいは工芸館など見て回りました。福岡市博物館にはどの教科書にも掲載される「漢委倭奴国王」の金印が専用の展示室に常設展示されています。それもレプリカではなく、全面がガラスで囲った本物の「国宝金印」が置かれ、いつまでも劣化しない金製品の神々しさを見せ、入場者に感動をもたらせています。その「形」と「文字の彫り」の秀逸性と希少性は他に類を見ないまさに国宝でした。



また筑豊の田川市の石炭歴史博物館を見学しました。石炭の博物館・資料館は他にもありますが、この博物館の特徴は、一炭鉱夫であった山本伝兵衛氏が描き連ねた膨大な炭鉱画類の作品群を収蔵し、展示していることです。山本氏の才能と作品のリアリズムの独創性を見出した、地元や筑豊の文化に魅せられた複数の文化人によって成長、伝播して世界を納得させる絵画作品として日本で最初の世界記憶遺産にユネスコ認定されました。

被災地の石川県輪島漆芸美術館も見学等しました。これらの知見を基に、今回は、町田市が収蔵する工芸品は果たして美術品として世界に通用するのかを問うことを一般質問のテーマにしました。(続く)

インターン体験記①岡田 愛海

今回のインターンシップでは、広報物作成をメインに学ばせて頂きます。広報物と言えば、インターネットや撮影機器が特化した現代では写真なども重要視されますが、なにより人に伝える上では整った文章が必要になります。無駄な言葉を減らし、必要なことをどう簡潔にまとめるかが要だと私は考えています。どんなに重要なことでも長々と書いてしまつては読む側が疲れてしまい、本当に伝えたいことが伝わらなくなる可能性があります。吉田つとむさんの経歴を聞かせて頂いた際、言葉を扱う上での苦勞を知ることができました。以前は商品や実物の写真などを見せながら商品を進める営業職をされていたため、言葉や文章のみで自分の思いや行動を示さなければならない政治の世界に入ったばかりの頃は、文章の難しさに何度も直面したと仰っていました。私も文章を書いて早九年目に入りますが、書き始めたばかりの文章を見れば見るに堪えないものばかりです。ですが、より伝わりやすい言葉選びや重複言葉の回避、想像を膨らませる情報描写などを、幾度も書き続けることで少しずつ取得することができました。

社会に情報を発信する者として、これらの技術は必須となります。培ってきた文章力を活かしどのように広報物を作成されているのか、チラシやHPなども踏まえ、今後のインターンシップにて貴重な体験として学んでいきたいと考えております。



横浜美術大学4年 岡田愛海(第56期生)

第56期インターンシップは夏季休暇を予定していましたが、岡田愛海さんは、一部日程を前倒しでスタートしました。第56期生研修生は引き続き募集中です。

◎ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始。2025年5月末までに112名が参加しました。

◎ 第56期インターン生の岡田愛海さんがスタートしました。大半は夏季休暇の期間となります。

◎2025年夏季インターンシップ生の募集は今後も継続しています。